



To Club Presidents and Secretaries in DISTRICT 2790

ガバナー月信

12

2008-09

2009年6月号
発行/2009年6月1日
COPY FOR MEMBERS

ロータリー親睦活動月間



友の訪れは最良の強壯剤

A neighborly visit is the best tonic that's known — better than beef, iron and wine. Try it, I beseech you.

隣人の訪れは何ものにも優る最良の強壯剤だ——それは肉にも、鉄剤にも、ワインにも優る。試してみられよ、敢えて願います。

(佐藤千壽「ポール・ハリスの言葉」より)



“Make Dreams Real”

2008—09年度

第2790地区ガバナー 崎山 征雄

ロータリーは孤高の単独峰・あくまでも高く美しく白銀に輝く

ロータリーは孤高の単独峰、山裾に四大奉仕の峰々を従えて聳え立つ白銀に輝く山頂は200ヶ国にまたがる奉仕の理想をあらわした山頂です。2006年、ロータリー101年目の始まりの年に地区の皆様からガバナーノミニの指名を頂きました。以来3年まさに夢のように過ぎようとしています。この間ご指導、ご支援いただいた皆様に心かなる感謝を申し上げます。

私の一年は、100年前の明治初年に生きた、新渡戸稲造の「日本人の和の心、それを支える武士道精神」と内村鑑三の「この美しい地球という最大遺物に人間は何かを遺さずにいられません」と、そして昭和日本の戦後の動乱期に毅然とした生き様で生き抜いた、「白洲次郎」の日本人のプリンシプルを何かにつけてお話してきたのでありますが、顧みてガバナーとして11カ月の時空を経過した今、考えなければならぬ事の第一は、2008年7月1日時点の2870名の2790地区ロータリアンの皆様に向き合って、①真実を全うできたのか？②皆に公正に向き合えたのか？③皆とともに友情と親睦に邁進できたのか？④皆の為になることができたのか？まさに四つのテストを前にした反省であります。今までは無我夢中で前へ前へと進んできたつもりではありますが、6月の一カ月は今までの実績（と言えらば）の評価なのか、反省なのか、十分勤めを果したのか、未熟ゆえの積み残しが多々あるのかを確認し数え上げ、一ヶ月で内容を精査し、さらに努力し、それでも残る責務を次年度へお願いしなければなりません。

私は、この一年を変化と変革の一年ととらえ、昨年度に続く合同公式訪問を推し進め、クラブリーダーシッププランをその実質的な検討と、形式ではない、その中身の本質の採用をお願いいたしました。地区大会は地区幹事会の献身的な活動とホストクラブ、コ・ホストクラブの多大のご支援とにより、全員参加の前夜のR I 会長代理歓迎晩餐会に続き、能「石橋」で始まり、実質一日で、参加会員皆様と最後の懇親会まで充実させて頂きました。心より感謝いたしております。

12月には地区現況アンケートで過去12年間の地区の増減の実態を調査し、また前半期の活動実態を調査し、皆様に2790地区の過去12年間の活動実績にあわせて、この半年間の元気な活動状況を、増強に、クラブ委員会活動にと報告させて頂きました。

その中で最大の驚きは、地区協議会で表彰させて頂きましたように、実に83クラブ中6クラブで12年間通算して会員の減少なく増加しているクラブもあったことです。これは日本でも誇るべき事と思います。

2月1日には地区の広報として毎日新聞で全面広告を打ちました。国際ロータリー、地区ロータリーの活動と共に、地区でともに活動する83クラブ会長の写真を紹介し、千葉県にロータリーの存在を強くアピールしました。5月のテイスティング・セミナー チャリティーディナーも親睦の輪の中で開催され、国連 UNHCR 協会の「中村 恵」さんへチャリティーをすることができました。

本年をクラブリーダーシッププランの実質一年目とするならば、長期計画を含む多くの実施計画を次年度以降に託すこととなります。06—07「率先しよう」07—08「ロータリーは分かち合いの心」08—09「夢をかたちに」そして3大セミナーも無事終了した中村ガバナーエレクトの新年度09—10「ロータリーの未来はあなたの手の中に」が始まろうとしています。

本年度に引き続き、2009—10年度も大きな改革の年になろうかと思えます。

6月は、「ロータリー親睦活動月間」でもありません。ロータリーの原点の一つである「親睦」は、ロータリーにとっては譲ることのできない絶対価値であります。「童心—少年の心」でこれからも「親睦」の輪を広げ多くの友人とともっと大きなロータリーの輪をつくりたいものとお願ひ致します。

最後に改めてロータリーは孤高の単独峰・あくまでも白く美しく白銀に輝く峰々であり、皆様と共にそこに登り終え、今下山して改めて見上げている心境であります。

2008 - 09年度 R I 会長賞

受賞クラブが決定いたしました。

浦安 R C	船橋東 R C	千葉幕張 R C
千葉若潮 R C	千葉南 R C	木更津 R C
富津 R C	富津中央 R C	木更津東 R C
君津 R C	袖ヶ浦 R C	館山 R C
成田空港南 R C	東金ビュー R C	八日市場 R C
多古 R C	八街 R C	成田コスモポリタン R C
柏西 R C	習志野 R C	習志野中央 R C
佐倉中央 R C	松戸中央 R C	

2009-10年度地区大会において表彰いたします。

テイスティングセミナー&チャリティーディナー

5月22日開催

会場：ホテル ザ・マンハッタン



国連 UNHCR 協会中村恵氏へ目録贈呈



サントリーチーフブレンドー 興水精一氏



ソプラノ歌手 片野坂栄子

ロータリー文庫についての検討・報告

先月号に引き続き中央の委員会改革につき報告いたします。

ロータリー文庫についてお話しますが、文庫は今、大きな変革を起こそうとしています。これまでの話し合いの経緯と協力金減額という処置を取らざるをえなかった経緯についてご報告いたします。

今年度ガバナー会では、ロータリー文庫への協力金を従来の1人300円から200円に減額することを34地区合同で決定いたしました。このガバナー会の決定に関して、そこに至るまでの経緯を地区会員の皆様にご説明申し上げなければなりません。以下にその経緯を記載いたします。

今年度ガバナー会では、ここ10年以上にわたって会員減少が下げ止まらない日本のロータリーの現状に危機感を持ち、この会員減少をこのまま看過しては、日本のロータリーの衰退に繋がって、取り返しのつかないところまで行ってしまうのではないかという危惧の念を持ちました。

そこで34地区のガバナーは、各地区の現状を検討したところ、かなりの地区で会員数の減少やクラブの終結をきたしていることが分かりました。現在、各クラブにはR Iからの要請で、CLPの導入という組織機構の変革を求めています。自分たちが管理している中央の組織運営も変革しなければ、会員の皆様に説明責任が果たせない事になってしまいます。地区の窮状をなんとか救うために、会員の皆様から分担金を頂戴して運営されている委員会すべてにおいて、その運営内容や決算報告、予算の使い方などを再検討し、適正な分担金のあり方を決めていく事を決議いたしました。その結果、すべての委員会に対しガバナー会で検討委員会を設置し、34地区のガバナーたちが分担してその報告を纏めることになりました。

ロータリー文庫の成り立ちについて

「ロータリー文庫」は、日本のロータリー創立50周年記念事業の一つとして1970年（昭和45年）に創立されました。この時「ロータリー日本50年史」を編纂したときに収集した貴重な資料を保管することから始まったといわれています。その後、数年たってから、その当時のガバナー会が各クラブから維持費を拠出することを決めたのが始まりで、それが今日までずっと続いているわけです。「皆様の資料室」をうたい文句にしていますが、その目的はロータリー関係の貴重な文献や資料などの収集と整備で、現在約2万点余りが収納されているとされています。

開館は平日の午前10時から午後の5時。

利用方法は、直接文庫に訪問すれば自由に閲覧できること。また、電話や書信による問い合わせも可能となっています。

<運営方法>

1、運営資金

各地区から会員一人当たり、上期150円／下期150円 計300円を徴収：現在の会員数は、9万5千人ですから、年に2850万円が収入として入る事になります。これが創設以来からとなりますので、過去、13万人のロータリアンがいたときは、年3900万円の収入があったはずであります。11万人のロータリアンがいたと推定しますと、その総額を累計しますと、今年で49年目を迎えますので、16億1700万円程度の収入があったこととなります。

2、運営役員

R文庫の運営は運営委員会が3年任期で9名、監査委員2名の計11名で運営されています。役員は全地区から輪番で役員（地区ガバナーが推薦）に就任することになっています。他に委員長経験者が3年間顧問、その後は、相談役として名をとどめています。2500地区からの役員は、3年前までの3年間は、田巻PDGが就任しておりました。

役員の定員が11名ですので、全地区一回りするのに10年くらいかかるとのことであります。

実務上、運営委員長は文庫のある東京に近い地区から出す事になっており、この為、東京、千葉、埼玉、神奈川の7地区は、少し早い輪番が来ることになるようです。これらのことは規約に明記してあります。委員会は年5回程度開催されるようであります。

3、会計決算

毎年、決算は委員会で行われていますが、決算をガバナー会に出さなかったことについては、10数年前にそれまでガバナー会に出していたものを、ガバナー会に出して貰っても致し方ない（ガバナー会はガバナーの連絡親睦会という位置づけであったためと考えられます）ので、直接各ガバナー宛に出してほしいとのガバナー会の要請で、変更して今日に至っています。

毎年11月の文庫通信にて大まかな決算は報告しておりますが、貸借対照表や基本財産をどのくらい持っているか、人件費等の細かな内容に関しては開示していないので不明です。各地区では会計決算の公示に関して、一部のパストガバナーが役員に就任しているところでは、会計決算をガバナー会が要求するまで出さずにいるところもあるように聞いています。

4、資料の閲覧、請求

資料の閲覧は、PCで文庫のホームページにアクセスして資料を取るか、電話かFAXで連絡してコピーをしてもらい、送料を払って手に入れる方法の2つの方法があります。しかし、未だに完全にデジタル化されていないため、その使用は非常に不便であるのが現実です。また、PDFファイルの書類もあり使い勝手が悪いことも事実です。アクセスしても一部の資料しか手に入らない、古いものはマイクロフィルムで管理している、料金を払っての（一枚20円プラス送料）コピーサービスと言う手段をとっていることなども問題点として指摘されました。

過去にマイクロフィルム化（貴重な資料のみ490点、8万5千ページ）していたものは、2年半前にすべてデジタル化して文庫のホームページに載せているとのこと。ただ古い資料をマイクロフィルム化したものをそのままデジタル化しているため、不鮮明であったり、ゆがんだりして見にくいのは確かである。ダウンロードしてみるとわかると思います。これを原本から改めてデジタル化するには膨大な費用がかかるので、今は手をつけていないとのこと。

他に、毎月お知らせしている文庫通信に掲載している資料のうち、著作権のないもの、或いは著者の了解を得たものはできるだけデジタル化するようにしている。今後とも予算の許す範囲でデジタル化を推進する計画ですと文庫側は説明している。

5、資料の収集に関して

運営委員会も資料の収集については努力しているが、まだ十分ではないかもしれないとの説明。資料の収集に関しては、今後どのようにするのかという具体的な説明はありません。

以上、この資料は、大磯RCの河本 親秀PDG（大磯RC PDG96/97：3年前にロータリー文庫の運営委員長）がお示しになった資料を参考に作成いたしました。

さて、それでは何故ロータリー文庫に対する協力金を300円から200円に減額することを決めたのか。ガバナー会の検討会では以下のような問題点が指摘されました。

<問題点>

- ①今まで16億円近くの収入を得ながらその費用対効果はどのようなものか
- ②会計決算をみると経費のほとんどが一般管理費と人件費で占められている。実質的な運営にはいくら使われているのか
- ③年間の会議費はどのくらいかかっているのか
- ④役員1人あたりに会議出席の経費としていくら支払われているのか
- ⑤文庫の実質的な活動を推進していくための資金は、毎年どのくらい計上しているのか
- ⑥運営委員と監査あわせて11名、それに、顧問、相談役を加えたかなり多くの役員が果たして必要なのだろうか
- ⑦役員が11名いるが文庫の体制を刷新し、または閲覧の方法を改革するような意見がこれまでに出不出でいないのであろうか、
- ⑧または、意見が出されても事務局がそれを実行していないのであろうか
- ⑨事務局事務員への人件費は、いくら支払っているものであろうか
- ⑩開館時間内（特に午前中）に文庫に電話してもまったく通じないことがあり、時には守衛が電話に出て、職員はまだ出社していないとの返事をもらうことが多々ある。実際に事務員はいつ出社して仕事をしているのであろうか
- ⑪今の時代は、誰でも、どこでも、いつでも、無料で情報を共有できるようにしていかなければならない。特に会員一人当たり毎年300円を負担している文庫の資料を購入する際、改めて送料、コピー代を支払うことが果たして妥当なのだろうか。
- ⑫創設して40年にもなる文庫としては、毎年新しく加わる資料は、わずかであり、総資料数としても金額に比較すると極端に少ないのではないか
- ⑬今後各クラブ、各地区で管理している資料を文庫で集約して保管・サービスするようなアプローチが文庫側からまったく無い。これはこれから文庫が活動していかなければならない大きな問題であるはずである。
- ⑭詳細な会計決算、監査報告、貸借対照表の開示がない。
- ⑮基本財産をどのくらい保持しているのか
- ⑯役員選出の内規はあるようだが、その人選方法、就任期間の内容は。
- ⑰役員会で話し合われた内容が公開されていない（委員会で何を話し合い、どのような結論を得たのか分からない）

このような疑問点から、ガバナー会としては以下の提案を文庫にお願いしました。

ガバナー会議長よりロータリー文庫運営委員会委員長に宛てたその文面を掲載します。

3月13日付け書面で連絡申し上げましたとおり、本年度ガバナー会では、ロータリー文庫運営協力金の支払いに関し、年間1人200円とすることを申し合わせ、各地区のガバナーにお願いいたしました。但し協力金額の最終判断は各地区ガバナーに委任します。

今後、貴委員会におかれましては、継続的に以下の4点についてご協力くださるようお願い申し上げます。

- ①役員の専任、会則の変更はガバナー会の承諾を得ること
- ②資料のデジタル化を推進すると共に、ウェブサイトの使い勝手を向上させること
- ③決算報告は、文庫便りへの掲載ではなく、収支計算書、貸借対照表、監査報告書を34地区ガバナー

に直接報告いただくこと

④協力金を可能なかぎり引き下げること

の以上の4点に付き文庫側に申し込みを致しました。

これに対して、文庫側から以下のような返事を頂戴しました。

文庫運営協力金について

表記に関する貴信(2009年3月13日)拝受いたしました。文庫協力金を200円/年とされますことは、ロータリー文庫に取りまして、財政上大赤字となることは必定で、当運営委員会は到底承引できるものではありません。

その事情につきましては、1月19日作業部長殿との会議で縷縷申し上げたつもりでございましたが、私どもの意見が明確には伝わっていないのは残念に思います。

当文庫の資産が公開されていないという意見、ロータリーの情報センターとしての役割を果たしていないと言う意見は、厳しく受け止めさせていただいて、今後運営改善に極力努力させていただきます。

しかし、協力金を3分の2にすることは、当方にも予告なく下相談もありませんでしたから、文庫側ではまったく準備ができておりませんでした。

費用の削減は、当方といたしましても、重点課題として十分検討いたしますが、今直ちに貴意に沿うことはできる事ではありません。将来はともかく、現年度に文庫協力金を削減することは、どうかご勘弁願いたくお願い申し上げます。

「協力金額の最終判断は、各地区ガバナーに委ねる」とのご裁定でありますから、現年度後期のご請求は従来どおり、150円にて各地区に申し上げさせていただきますことをお許しください。

しかし、文庫側の会計決算内容を詳細に検討しますと、以下の点が変更になっていることが判明致しました。2005年～2006年度と2006年～2007年度の支出項目ごとの比率はほぼ同じですが、当年度ガバナーが文庫の運営内容を指摘した後の2007年～2008年度の支出は大きく変わっているのです。委員会費と賃貸管理料はあまり変わりませんが、業務費が255万円→274万円→860万円、人件費は1639万円→1620万円→762万円と業務費が3倍以上に、人件費は半分以下になっています。仕事をする人が減って、仕事を倍以上したなどということは、ありえないであろうという疑念が出てきたのであります。このような、不明瞭な運営内容を解決できないまま、文庫に対して毎年同じ額の資金協力することは、地区の会員に対して説明責任が果たせないという事になり、減額を決定したのであります。

ロータリー文庫 会計報告 収支計算書

収入

単位:円

	2005-06年度	2006-07年度	2007-08年度
会費収入	30,144,150	29,653,050	29,088,150
雑収入	1,426,295	448,205	272,478
当期合計	31,570,445	30,101,255	29,360,628
前期繰越収支差額	14,918,135	11,262,714	11,140,285
収入合計	46,488,580	41,363,969	40,500,913

支出

単位:円

	2005-06年度	2006-07年度	2007-08年度
委員会費	2,290,407	1,841,298	1,849,500
業務費	2,556,494	2,747,769	8,600,353
賃貸管理費	10,209,722	9,426,989	9,464,069
人件費	16,397,433	16,207,628	7,623,322
予備費	3,771,810	0	0
当期合計	35,225,866	30,223,684	27,537,244
当期収支差額	△3,655,421	△122,429	1,823,384
次期繰越収支差額	11,262,714	11,140,285	12,963,669

将来、ロータリーのとるべき文献管理方法は、あくまでも私個人の見解としてですが、もはや文庫として単独で1人300円の協力金をもらって存続させる意味があるのかと言うことを真剣に考えていかなければならないと考えています。今まで3000万円近い収入を得ながら、業務費として250万円しか予算化されていなかった現状は、どう考えても仕事になっていないと思います。そのため次の4点を将来の改革点として地区の皆様にもお示しして、皆様のご意見を頂きたいと思えます。

- ①現在のように古い文献を保存（一説によると札幌のあるRCに依頼して保存してもらっている）することと、その一部分を掲載するだけの機関は、これからは必要ないのではないかと
- ②情報の開示を主体とするのであれば、ロータリーの友（ロータリージャパン）や、民間の機関であるロータリーの源流に業務委託したほうがはるかに効率が良いのではないかと
- ③現在、毎年2850万円と言う多額の協力金は、人件費、管理費にかなりな額が消えていることを考えると、この資金は、業務委託費として他の団体に委託して管理してもらった方が良いのではないかと
- ④ここで、文庫への支払いを300円に戻してしまうと、今年度ガバナー会が終了した後は、またもとの状態に戻ってしまい何の改革にもならないのではないかと

以上の観点から、文庫に関してはその役目は終わった、または、抜本的な改革が必要であるという認識で、これからは違った方法で資料の管理と情報の公開をするべきであるという考えをもっていることを皆さんに報告させていただきます。

今年度のガバナー会は、協力金を200円に減額しました。私達の目的は、200円に減額することが目的ではなく、文庫の機能をいかに有効に継続し、その機能を多くのロータリアンの皆様に活用していただく機関に改善することにあります。

協力金を200円に減額したことで、今の文庫の現状をそのまま継続していると、ほとんど活動にならないと思います。そうではなく、300円でも400円でも金額は後でついてくるものと思いますが、皆さんが出している協力金のほとんどが事務局の維持費と人件費に消えるのではなく、最低限の事務局管理費と文献管理、情報開示に使う費用に変えることができれば今年度のガバナー会の目的は達成されたものと思います。文庫の中村議長も、現在は立場上文庫の運営委員長としてその責務を全うされておりますが、お考えは私たちと同じ考えをお持ちだと思います。

今年度皆様方からいただいた文庫への支払いは、以上のような経緯でとりあえず200円とさせていただきます。

きました。しかし、文庫はこのままの状態でも存続させて良いものかどうか、それは中村年度のガバナー会がこの問題をどのように捉え、改革を進めて行くのか？それとも何もしないのか？現時点では判断できません。

一年間だけのガバナー会では、このように不明瞭な部分を明らかにすることは出来ませんが、それを改革するには数年の時間が必要です。DGE、DGN が結束して改革を進めなければならないのですが、実際はガバナー年度が終わればすべてに責任のないパストガバナーになってしまいます。

これもロータリーの大きな問題点であろうと思います。

文庫における問題は、正確な資産、決算に関する資料の完全公開を求めています。その状況を鑑みて、当地区においては最終判断を6月中旬以降にいたします。

皆さん方のクラブも組織の不都合な部分は是非改革して、時代に求められるロータリーのあり方を考えていただきたいと思います。

皆さんで「夢をかたちに」していきましょう。

	<h2>ガバナー会報告</h2>	
--	------------------	--

2008—09年度ガバナー会の活動について、ガバナー会議長の櫻井権司氏の文章を以下に掲載いたします。

ガバナー会について

ガバナー会議長 櫻井 権司

ガバナー会とは、日本全国・34地区ガバナーが当該年度に参加する任意の会で、正式名称は「ガバナー会」と称します。当初は、同期ガバナーの親睦の会として発足したようで、いまでもR Iから正式に認められた会ではありません。しかし、最近その役割は大変重要になってまいりました。と言いますのは、日本各地区のロータリー活動をみてみますと、①会員数の減少から地区財政が逼迫してきており、何とか34地区に係わる委員会活動の負担を軽減したい点、②ここ数年R Iから推奨される案件が日本文化に照らし合わせるとそぐわない点が出てきていること、③国内外の災害発生時の緊急対応を連帯して行うこと、④青少年交換の受け入れ等で学生の一括ビザ申請業務を行うこと、⑤将来青少年交換事業すべてを保険で担保する問題等、現実的に各地区のガバナーが連帯し、可能であるならばエレクト、ノミニーが参加して継続しながら対処しなければならない問題が多々出てまいりました。単なる親睦だけの会としては済まされない状況になってきたのであります。

ここで、全国34地区に係わるいろいろな会を見わたしてみますと、①ロータリーの友、②米山記念奨学会、③全国青少年交換委員会、④ロータリー文庫、⑤国際ロータリー日本青少年交換委員会 (RIJYEC) があり、非公式なものとしては、⑥ローターアクト全国大会、⑦ライラ全国大会とさまざまな会が立ち上がり、それぞれに地区の委員会と連携をとりながら活動しております。これらの会は、本来各クラブ、地区がそれぞれに係わり、管理監督すべきものでありますが、管理運営上は、地区単独で34地区それぞれ別々に係わっておりますと、委員会の役員の人選や資金の調達、適正な予算の運営などで不都合な点

が出てきているのも事実であります。ガバナーは、そのような適正に機能していない問題点を十分把握し、対処しなければならぬところまできていることは紛れもない事実であります。しかし、現実には公式訪問や、地区大会の開催、国際大会への参加などで忙しい毎日を送らざるを得ず、実際にこれらの業務に取り込む時間が取れないことも事実であります。過去、これらの委員会の運営に関しては、経験豊かなパストガバナー諸氏が永続的に役職に付かれ、委員会業務を行っていただいておりますが、基本的には当該年度のガバナーが意見を集約し、それらの委員会運営は、各地区の状況に沿った形で業務推進させることが本来の姿ではないかと考えるのであります。また、各地区のその年度の状況を把握し、毎年会員の負担を減らす改善をしていかなければ、それぞれの地区の財政は破綻してしまう可能性が出てまいりました。これは取りも直さずロータリーの会員減少に繋がる由々しき問題であると理解されるのであります。

会員数の大幅な減少のなかで多くのクラブ・地区は予算作成に頭を悩ませておりますが、その中から前述の委員会にも以下のような資金を拠出しております。ご承知とは思いますが羅列してみましよう。

地区より支払う分担金

ガバナー事務所運営費	200円×会員数	ロータリー文庫	300円×会員数
RIJYEC 会費	100円×会員数	平和フェロー支援金	15円×会員数

クラブから直接支払うお金

ロータリーの友購読料 一人／年 2520円

日本ロータリアンの人数95,500人をかけて見てください、思いのほか大きな金額になっております。私たちロータリアンは、現在これだけ多くの資金を拠出して各委員会存続のために資金援助しているのも受け取れるのです。そして、各委員会では潤沢な積立金を所有しているところもございます。その内実は会員一人一人まったく理解してないことも事実です。やはり、資金の運用に関しては、各委員会の活動内容に対して予算付けし、決算内容を性格に監査しながら毎年改善していくことも必要であると考えます。

2008-09年ガバナー会は改革を決議いたしました。

ガバナーに就任して初めて出会う問題がたくさんありますが、公式訪問から始まり多くの事に時間を割かなければなりません。気付いた問題を毎年次の年度に先送りしてしまいますとロータリー変革する機会を失い、衰退するばかりです。

今年度ガバナー会は、このことに気がついたときから改善しようと話し合い、問題には果敢に挑戦しようと決意致しました。そして、多くの問題が抽出され、それぞれの問題ごとに作業部会を設けて、問題点の把握とその解決策を探って参りました。

問題の解決に至るまでには、まだまだ時間が必要です。しかし、今年度ガバナーはあと数ヶ月で終了してしまいます。改善できなかった点は、次年度ガバナーエレクトにその夢を託して行きたいと思いません。どうかこの点をご理解頂き、次年度ガバナーの皆様には、日本のロータリーが益々発展するように、会員増強できる基盤の整備をしていただきたく、ご理解を切に願うところであります。そのために、私たち今年度ガバナー会では、「ガバナー協議会」の設置を提案いたしました。日本のロータリーが世界から忘れ去られないように、クラブと共に地区、日本ロータリーにも活力を取り戻したいと思えます。

1 年を振り返って

ガバナー補佐としての一年間を振り返って

第1分区ガバナー補佐 **小林 康郎**
(市川東RC)



昨年4月、次期ガバナー補佐会議に始まって、隔月に予定されるガバナー補佐会議と偶数月に予定された分区の会長幹事会、その合間に地区大会情報研究会等地区の会合が入り当初の予想をはるかに越える会合の予定の多さに少なからず戸惑いを感じた。

仕事の合間を縫って各クラブへの訪問もガバナー公式訪問の随行を含め3～4回に留まった。年度の大きな目標である会員増強も充分念頭に置いて推進したつもりだが、当クラブの前任のガバナー補佐伊藤靖裕会員を始めとして、在籍年数の長い会員の死亡が多く純増とはいかなかった。分区内会長幹事の皆さんを始め多くの会員の協力によりIMを盛大に挙行することが出来たが、それぞれの会員の健康に留意し奉仕活動に役立てる事をアピールした事がどの程度受け止めて貰えたか、今後を見守りたい。

これからのR12790地区並びに第1分区内各クラブの更なる発展を期待する。

分区のCLPとこの一年

第3分区Aガバナー補佐 **川島 教昭**
(千葉西RC)



従来の運営形態に重畳的に乗ったCLPには戸惑いがあった。このダブルスタンダードな概念をどの様に整理し、理解し、受け入れるかに時間を要した。発展、繁栄の100年が過ぎ、停滞期に入ったこの時期にRCは先を見据える必要があると理解するのに時間を要したからであった。よって区内では細則の変更等はしなかった。以下、自分なりの理解を記す。

会員増強退会部門、及びクラブ広報部門・・・小委員会で置く部門ではなく、全体に網を掛け全員で対処する必要がある。衰退の時代に対処する為に。

奉仕プロジェクト部門・・・本来の社会奉仕活動を見据える必要に迫られて来た。従来の親睦活動や姉妹クラブ活動に予算の肥大化が進む事への警鐘であり、予算の一元化管理の第一歩と考えたい。

クラブ管理運営部門・・・コスト意識が鮮明になる。

ロータリー財団、米山記念奨学会部門・・・いかなる奉仕団体でも基金は必要である。

We Serve となる。

1 年を顧みて

第2分区ガバナー補佐 **清松 楷男**
(鎌ヶ谷RC)



思い起こせば昨年第2分区のガバナー補佐を受けてから約1年が経過し任期も1ヶ月余りを残す事となりました。

2008～2009年度ガバナー崎山征雄様のロータリーの高邁な理想と日本古来の伝統的文化であります武士道の精神との調和を如何にしてパイプ役としての真意をお伝えできるかどうか思い悩んでいる内に任期も終わろうとしております。

やり足りない事は多々ありましたが、第2分区で「分区活動優秀賞」と言う事で表彰されましたことは何よりでありました。

分区内の各クラブ訪問の際、及び各行事について、会長、幹事様はもとよりロータリアン各位の多大なるお力添えを賜りました事心より感謝をこめお礼申し上げます。

有難う御座いました。

1 年を振り返る！

第3分区Bガバナー補佐 **長塚 公毅**
(千葉北RC)



2007年12月5日「第1回ガバナー補佐会議」に始まり、第2回は「ガバナー事務所開設」時に4月12日、6月21日が第4回と“2008年～09年度”が始まる前に徹底的に補佐としての教育を受け8月、10月、12月、09年3月が第9回、その間に7月2クラブ合同(3回)の公式訪問、地区委員会セミナー、地区記念ゴルフ、「地区大会」第3分区B親睦ゴルフ、南RCホストによるIM、毎月の“合同幹事会”、正に息つく閑もない1年間でした。

振り返ると足りないことのみが思い出され、もともと出来たと反省のみの1年間でした。

願わくば近い将来の“ガバナー補佐”は年功序列ではなく、将来のロータリーを担う若手(50代)の登用をお願いし、1年間崎山ガバナーIMリーダー鈴木パストG6クラブの心優しきロータリアンに心より感謝し、「第3分区B」正副合同幹事会を4月、5月、6月(3回)行い、スムーズな引継ぎを行いたいと考えています。

(1年間本当に有難うございました。)

一期一会では終われない

第4分区ガバナー補佐 石渡 鋼
(富津中央RC)



あの時、頑なに断り続ければやらなくて済んだであろうガバナー補佐、歴代のG補佐をあの人この人と思ひ浮かべれば、自分がその器でないことは本人が一番承知している筈なのに。酒席の勢いに押され、抗する術を失って始まったこの一年余りでありました。

気鋭嶺山ガバナーをどれ程補佐できたか心もとなく、甚だ申し訳なくお詫びするところではありますが、第4分区の各クラブ会員の皆様には、4クラブ合同公式訪問、地区行事への参加、各種募金への寄付、IMへの協力と、非力補佐の対面をも支えていただき、お蔭様で大過なく終わりつつあることは、各ロータリアンの友情の賜物と感謝するばかりであります。ありがとうございます。又13人の同期の補佐の皆さんお世話になりました、さようならまた何時か。

学びと交流の輪を楽しむ

第6分区ガバナー補佐 進藤 義男
(茂原中央RC)



私は、「一日一日の努力の積み重ねが人生となる」という生き方をしてきました。この中には、楽しむという余地がほとんどないものでした。

16年前に茂原中央RCのチャーターメンバーとして参加させていただきまして、初めてロータリーの世界を知ることができました。

「来たりて学び、出でて奉仕せよ」は、私の現在の道標であります。この一年は、ハードな学習に追われました。しかし、地区役員のみなさんや、同期ガバナー補佐の各位、そして分区内全員と親交を深めることによって、人生の楽しみ方を教えられました。鈍足な私を、列から落後しないように励ましていただいたみなさんと、主催行事に多大のご協力をしてくれた茂原中央RCのみなさんに、深く感謝申し上げます。

今後は、ロータリーの緑の森の中で人生をリフレッシュしていきたいと考えています。

1年を振り返って

第5分区ガバナー補佐 川名 克己
(館山RC)



昨年の今頃は胸を弾ませながら次年度のガバナー補佐として役割をどのように果たすか、どの様に会員の皆様と有意義なひと時を持つことができるかを意識して行動に乗せるかを考えていました。

年度当初のガバナー所信表明「日本人の和の心それを支える武士道精神で夢をかたちに」のタイトルのもとクラブ活動全般についての要請事項

①会員増強 各クラブ純増1名 月間5~10%以上の新入会員を目標

②以下は省略する

①については、焦点を絞って運動を展開しようと思意する。

当第5分区6クラブの平均年齢は66.23歳。180名の会員の最高年齢には71.05歳、最低年齢49.91歳。10年後を想定すると平均年齢72歳となる。一人前のロータリアンを育成するには約10年かかる。ロータリーは理屈で覚えるのではなく、体で覚えるもの。

嶺山ガバナーはじめ、宮本地区幹事長、幹事グループの皆様、各クラブの会長幹事、分区内各会員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。

クラブ自治の重要性を確認した一年

第7分区ガバナー補佐 織田 吉郎
(銚子RC)



ガバナー補佐に成績表があつて、単位をいただく事が出来たのなら、それはひとえに分区会員皆様の御協力の賜物です。ロータリーの長い歴史の中で今ほどクラブが「自衛」を必要としている時はないでしょう。自分のクラブは自分で守る、あたり前のようですが中々難しいものです。日本人には秀吉の刀狩り以来わが身はお上に守ってもらふ習わしが身につけてしまっていて、残念ながらクラブの行く道もRI任せというメンタリティーを持っている人が多いのです。その点では「自分のことは自分で守れ」と憲法にまで書かれている国の民とは好対照です。クラブにとって一番大切なのは自治意識の開発だということを様々な場面で学ぶことの出来た一年でした。

一年を振り返って 続 緑の風に吹かれて

第8分区ガバナー補佐 萩原 承平
(多古RC)



また、春が来ました。北総台地の緑の風に吹かれてと、自分の不安を吹き飛ばせて欲しい思いから、就任の一文を送ってから一年があつという間に過ぎて行きました。崎山ガバナーの言われる「ロータリーは友人の集まり」を実感、再確認できた一年でもありました。崎山改革？は、「武士道精神」の基にロータリーの、日本のロータリーの方向性を模索された意義あるものを感じましたし、「大不況」のなかで生まれたロータリーの存在価値を「未曾有の世界金融危機」に直面して、再確認できた、そうして欲しいと思いを重ねた年でもありました。分区内、4クラブの素晴らしい会長幹事さんに支えられ、皆様との交流と「会長幹事会、懇親会」の美味しいお酒を一生忘れることはありません！ありがとうございました！

この1年を振り返って

第10分区ガバナー補佐 須藤 英華
(柏RC)



今年度第10分区も幾多の事柄がありました。中でも「CLP」導入に関してクラブ内で、分区内で、IMでも活発な議論が交わされ、1クラブは今年度導入し他4クラブも暫時導入して行くこととなります。また昨年来の金融危機は世界に大きな混乱を引き起こしております。金融の世界にもモラルがあるはずです。われわれロータリアンはそれを「4つのテスト」として心に刻んでいます。

[皆に公平かどうか]、[皆の為になるかどうか]を実践していれば、あのような Greed (強欲) とされるような行為には至らなかつたのではないのでしょうか。今年度各クラブ純増を達成出来、この素晴らしいロータリー精神を分かち合う為にも、1人でも多くの同好の士(女史)を受け入れて来ました。さらに来年度は当分区から中村GEがガバナーに就任されます。来年度に向けさらに分区一同精進して行きたいと考えます。

1年を振りかえって

第9分区ガバナー補佐 近藤 博貴
(成田RC)



この1年ガバナー補佐を拝命して、3回のガバナー公式訪問、IM、各クラブの訪問、親睦ゴルフなどの諸行事を無事終ることができましたことに感謝しています。分区内のクラブ訪問を通じては、各クラブの実情や特性を知ることができました。おそらくガバナー補佐としての任務がなければ、こうした機会には恵まれなかつたものと思います。この分区内の各クラブともその基盤とする地域の差により、奉仕活動にもそれぞれ違いがあることを理解しました。

本年度は、特にクラブを裏方で支えている事務局員の方々に集まって頂き、情報交換の会合を開催しました。お互いに得るものがあつたと好評のようでした。

最後に、この1年間ご協力頂いた会長、幹事さんをはじめ第9分区の会員の方々に重ねてお礼を申し上げます。

今年度の会員増強について

第11分区ガバナー補佐 山川 成美
(佐倉中央RC)



RI会長の李東建氏は2008-09年度の強調事項に、各クラブは2009年3月31日迄に1名の会員純増(必須)と10%の会員増強(推奨目標)を掲げました。私共 第11分区も当初よりこの目標に全会員で向かいましたが、昨秋のリーマンブラザーズの破綻に始まりアメリカの金融恐慌の様相で、なかなか予定通りには成らず、しっかりとした活動をしなければ目標を達成する事が難しい状況です。第11分区では3名の純増が1クラブ、2名の純増が2クラブ、そして努力をしたが結果として純増0が2クラブ、そして努力の結果が実らず逆に-1名が2クラブと成りました。6月末まであと1ヶ月ありますので、全会員努力して目標達成に頑張りたいと思います。

1年を振り返って

第12分区ガバナー補佐 **並木 幸雄**
(松戸北RC)



ロータリーには未熟であり、不安いっぱいスタートでした。しかしながら、崎山ガバナーの力強いご指導と吸引力により勇気づけられながらの一年でした。

分区内各クラブ訪問での新しい発見も沢山ありました。とっでも勉強になり、今後の活動にも反映していきたいと思えます。

7月のガバナー公式訪問ではロータリーのありべき姿をわかりやすくご指導いただきました。また、ガバナーから誠に適切なコメントを頂き、大変充実した公式訪問でありました。

10月の地区大会も習志野文化ホールでの斬新な内容であり楽しい一日でした。

年が明け2月に行われた分区によるIMも増田パストガバナーをリーダーに迎え、テーマの「私達のクラブ発展のための中長期計画」に沿った各クラブから具体的な計画が発表され、大変有意義なIMでした。

あっという間の一年でした。大変勉強になりました。皆様方からのご指導・ご鞭撻ありがとうございました。

崎山ガバナーに感謝

クラブ奉仕委員会カウンセラー
パストガバナー **山中 義忠**
(船橋南RC)



無事この一年、当地区のためご尽力戴き先ずは厚く御礼申し上げます。

日本のロータリーには、更なる会員の個主自尊のI serveが必要であります。ロータリーが、ロータリーアンである為には先ず会員個人の資質が、優秀で有る事が必要であります。この優秀なる資格は、会員相互の研鑽 即ちロータリーの根源、根幹たるクラブ奉仕から生まれます。

崎山年度に、このI serveそして名ばかりでも、クラブ奉仕を、残存させて下さったガバナーに、深く感謝申し上げます。

本当にご苦勞様でした。

一年を振り返って

第13分区ガバナー補佐 **渡会 顕**
(流山中央RC)



昨年7月にガバナー補佐を拝命して以来、早いもので10カ月近くが経過し、残すところ2か月余となってしまった。

7月当初の各クラブ訪問は緊張の中であったが、ほぼ隔月に開催した会長幹事会が会を重ねるにつれ、各クラブの会長幹事さんとも意思が通じ合い、和気藹藹となっていた。

8月4日野田3クラブ、9月18日流山2クラブのガバナー合同公式訪問も、無事に終了し、それぞれの懇親の場では楽しい時間を過ごすことができた。

また、9月に開催した13分区5クラブ親睦ゴルフコンペには、多くの参加を頂き、会員相互の親睦を深めることができた。

2月には、IM並びに5クラブ合同例会を開催し、杉木パストガバナーのリーダーのもと、盛会裏に成果を収めることができた。

おわりに、ガバナーはじめ地区幹事、ガバナー事務所の皆様、特に自クラブ中村会長に深く感謝申し上げます、結びといたします。

一年を振り返って

クラブ奉仕委員長 **加藤 隆**
(千葉東RC)



クラブ奉仕委員会には3つの小委員会がありますが、7月26日に3委員会合同セミナーを開催いたしました。リーダーに服部芳樹RRIMC(岐阜RC)と桑原茂RRIMC(塩釜RC)を迎え、幕張メッセに於いて第1部『会員増強の目標達成と会員維持』について、第2部では『手続要覧にCLPを読む』と題してセミナーを開催しました。このセミナーでは従来の方式ではなく、初めての試みとして講師と参加者との対話方式で行いました。9月20日にはロータリー情報研究会を同じ幕張メッセでメインテーマ『夢をかたちに』の下、基調講演は「今子供は」と題して外部講師国際自然大学校副理事長の桜井義維英氏に、リーダー講演は「これからのロータリアン」—こども・環境・自然—を崎山ガバナーにお願いいたしました。今回の情報研究会、新しいロータリアンにこれからのロータリー活動を理解していただく目的もありました。

セミナーとは別に広報委員会では2009年2月1日、毎日新聞にRIの補助金を使い地区活動を紹介するために全面広告を掲載いたしました。また、2002年を最後に改訂されていなかった『ようこそロータリーへ』の改訂版を発行できたことは最後の？地区クラブ奉仕委員会として責任を全うできたと思えます。2790地区の会員の皆様にはご協力感謝申し上げます。

広報の仕事は有意義で楽しかった

広報・IT委員長 田村 泰一
(船橋西RC)



かねがね、「ロータリーは広報活動が低調だなあ」と思っていた。ロータリーには「自らの活動の宣伝は程々に」といった風潮が従来からあったからに他ならない。ところが数年前から「ロータリーの公共的イメージを上げる事業を推進せよ」或いは「積極的に広報活動に取り組み」と方針が変わり、昨今ではR I本部直轄の予算まで付けて、全世界に号令を掛けるに至った。

そこで、「公共イメージ推進」を目的に2007年夏、成田国際空港に「Welcome to Japan」の大ボードを設置し、その真中に「Rマーク D2790」を配した。

また、2009年冬には「広報」を目的に毎日新聞一面全部を使い、千葉県民の皆さんに「世界と地域における奉仕活動の一端」をご紹介した。しかし、地区の広報予算は微々たるもので、事業の実現にはR I本部は勿論の事、多くの団体や関係機関に多大なるご理解とご支援を戴いた。その交渉の過程でロータリーへの信頼が大変高い事を強く感じた。これはロータリアン一人一人が持つ信用力集積の結果であると思う。「大きな収穫であった」ので茲に報告しておきたい。

(了)

変化とは

職業奉仕委員会カウンセラー
バストガバナー 白鳥 政孝
(市原RC)



「物質文明」からの決別がしきりに叫ばれ、「精神文明」へと移行する変化が問われた年であった。問題は変化の内容だ。システムを変えれば良いという単純なことではない。人としてあるべき思想を、そのシステムの運用において、いかに体现していくかが問われている。

ロータリーにおいては、それは一人ひとりが強い決意の下にテーマである「超我の奉仕」と「四つのテスト」をただひたすら実践躬行することにある。

ロータリーにおける変化は、謙虚なる反省とロータリーの理念を着実に実践することによってなされるものだ。一人ではできない、みんなで知恵を絞り、手を携え励まし合いながら前進することだ。と1年を振り返り感じたことです。

会員増強の成果は

会員増強委員長 小池 清二
(市原RC)



クラブ会員数の増強は国際ロータリーの至上命題であり、クラブにおいても四大奉仕を遂行して行く上で50名以上を必要数と言われております。7月7日の李東建R I会長主催の「会員増強東京会議」、7月27日の地区主催のクラブ奉仕合同セミナーで、純増1名を目標に増強活動をお願いしたところ、4月末現在、以下の成果となりました。

1名以上の増加クラブ 44クラブ
増減なしのクラブ 15クラブ
1名以上の減少クラブ 24クラブ

年度初めより58名の増加に止まっており、純増1名に達していません。

増強活動が停滞しているのか、クラブに魅力がないのかクラブ運営が問われているところです。職業人の集まりのクラブの主体性を四大奉仕のどこに置か、会員間のコンセンサスを探り、例会で勉強し、実践し、地域住民に訴えて行かねば反響はなく、新会員の入会は効を奏しないと思われれます。会員増強はロータリーの永遠の課題です。会員一人ひとりの増強活動が望まれるところです。

1年間ご協力ありがとうございました。

職業奉仕委員会に携わり

職業奉仕委員長 添田 雅春
(松戸北RC)



地区職業奉仕委員会にお世話になり、丸3年が過ぎようとしています。今年度は委員長を仰せつかり、前2年度の委員長の3分の1も務まらなかったと、後悔致して居ります。

職業奉仕特別セミナー記念として齊藤博バストガバナーにメイン講演をお願い致しましたが、後年のロータリアンの指針となる書籍も職業奉仕委員会として残したいとの各委員の意見も一致し、前2期のガバナーで委員会のカウンセラーの白鳥政孝PGに齊藤博PGに原稿一切をお願いして頂き、印刷も2期の実績から白鳥PGにひとかどならぬお世話に相成りました。「ロータリー哲学の理論と実践」が生まれ、特別セミナー研修にも役立ちました。歴史から理論実績まで、立派なものですので、ロータリアン全てに一読推薦いたします。

一年を顧みて

社会奉仕委員会カウンセラー
パストガバナー 杉木 禧夫
(茂原RC)



社会奉仕委員会は土屋委員長はじめ委員の皆様、献身的なご努力、誠にご苦労様でした。年初の社会奉仕委員会長会議で特筆しておかねばならないことは、ロータリー財団委員会、川原勝壽補助金小委員長のご協力を頂き、各クラブの活動に対し、補助金申請の説明等を致しました。

その結果、地区内クラブの25%、21クラブより申請があり、審査の結果により19クラブ、総額700万円超の事業に対し、補助金265万円が支援されました。この様な充実した活動を誘引された川原委員長に敬意と感謝を申し上げます。次に委員会の事業としては、地区内83クラブの奉仕活動の実態を把握し、今年度中に活動報告書を作成する予定です。今後の皆様の活動に供したく存じます。

この一年間関係皆様のご協力に感謝を申し上げ、ご挨拶と致します。

崎山ガバナーへ

(一年を顧みて)

国際奉仕委員会カウンセラー
パストガバナー 増田 裕
(千葉中央RC)



この一年は如何であったでしょうか。貴重な経験をされた年であったと思います。貴男自身も自分では判らないと思いますが、傍から見て貫禄も備わりとても格調高い人に成長されました。

暫く疎遠であった会社関係にもこれから戻れることになるでしょうが、この一年で得た識量は必ず役に立つこと請合いです。旅の終りは新しい旅への出発ともいいます。

更なるご活躍を期待します。

社会奉仕は大切です

社会奉仕委員長 土屋 俊夫
(成田空港南RC)

社会奉仕委員会にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

社会奉仕の活動は多岐亡羊になりやすく、その活動意義をみいだせなくなります。極度の貧困、飢饉、水不足、戦争、テロ、医療問題等、社会問題を無視できなくなった事を認識する必要があります。この問題は、公的な機関による対応、企業などが寄付等で事業の利潤の還元としての対応がなされてきました。しかし財務的な理由でより以上の対応は困難になってきています。脚光をあびてきたのが、市民による奉仕活動です。ロータリークラブはこの分野です。全83クラブの活動量は無視できません。ロータリアンはロータークラブの中では企業の責務から離れて社会奉仕活動に参加する事ができます。ロータリアン個人の人生の意義をみいだす事すら可能です。その様な意義深い事が社会奉仕にありますので今後も積極的な参加をお願いいたします。

昨日から明日へ

国際奉仕・WCS 委員長 池田 八倉
(野田セントラルRC)



ロータリーが誕生して100年、2790地区のWCS活動を開始して23年、この1年、1/23年が終了した。世界の開発途上国における飢餓の追放、貧困からの脱出に、我々はいかに協力し、支援したであろうか。フィリピン、ベトナムに地区として支援し、ミャンマー、ネパール等にはクラブが支援した。地区はそのサポートを行った。特に各クラブがさらに活躍するように地区はそのサポートを増大した。

世界の政治、経済のグローバル化は人々に陰陽の影響を与える。陰に伴う国際競争の激化による途上国の更なる貧困を考えると、暗澹たる想いに捕われる。しかし嘆いてばかりではいけない。我々の支援を待ち望み、感謝と喜びの笑顔で迎えてくれる人々がいる限り、我々は世界に支援の輪を拡げたい。次年度の張ヶ谷昇委員長、委員各位の大活躍に期待し、この1年のガバナー、ロータリアンの方々のご協力に深く感謝いたします。

RF (ロータリー親睦活動) 活動報告

RF委員長 **相原 勝**
(千葉中央RC)



今年度の一年間を顧みて2つの活動について報告したいと思います。

まず、地区「ロータリー親睦野球リーグ」です。地区内9チーム登録数185名の野球を愛するロータリアンが4月5日より開幕し、36試合7球場にて熱戦を繰り広げました。9月17日には「千葉マリン大会」が開催され、崎山ガバナーの始球により5試合を戦い勝負にこだわりながらも親睦を深める一日でした。又11月29日には納会を行い105名9チームのロータリアンが一同に集い、セレモニーから成績発表に移り市川シビックRCが優勝の栄冠に輝き、ロータリーは友人の集まりであるという親睦活動の原点をみましました。

もう一つの活動である第9回「ロータリアン芸術祭」は、会員並びにご家族様に提供を呼びかけ、地区大会会場にて陶芸、彫刻、写真、書、油絵、絵画等、素晴らしい32作品の展示をすることが出来、心より感謝申し上げます。

崎山ガバナーに感謝

新世代育成委員会カウンセラー
バスターガバナー **鈴木 雅博**
(市原中央RC)



地区運営に円滑を欠いたかと懸念される場面も見えた後の就任で、多難な船出を強いられるかと心懸かりでしたが、溢れる斬新なバイタリテイと指導力を発揮され、私達を導き見事に地区運営を果たされました。指名戴いた新世代委員会のカウンセラーとして、地区委員の皆様の御協力と御指導の下に、楽しく一年を過ごさせて戴きました。

『夢をかたちに』のテーマの下で、大和魂を基に『和』と云うロータリーの原点を強調される地区の舵取りは、大きな成果を記されました。御指導に敬意と感謝を捧げ、心より労いを申し上げます。

更にガバナーを支え活躍された、宮本地区幹事長さん始め地区幹事の皆様、ガバナー事務所スタッフの皆様、習志野中央ロータリークラブの皆様のご苦労にもお礼申し上げます。

1年を振り返って

青少年交換委員長 **飯生 高一郎**
(八千代RC)



本年度の留学生は、新世代交換で3人来日し、短期の学生が4人来日し、4人が派遣されました。長期でも2人が来日し、3人が派遣されております。このように多くの留学生が誕生致しました。子供たちにとって異国での文化や歴史に触れそして言語を習得できということは、掛け買いのない宝物を手にしたと言えます。きっと将来大きく羽ばたいてくれるであろうと期待しております。この青少年交換プログラムにご協力いただきました第2790地区内の多くのロータリークラブの皆様から心から感謝申し上げます。また、支えてくださいましたガバナー・委員会カウンセラー・委員4人の方・事務局の高山さん・千葉REXの皆様方に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます御座いました。

『子供たち』に光を当てて

新世代育成委員長 **河合 潤**
(君津RC)



今年度は李会長や崎山ガバナーの方針を受けて新世代育成委員会も「心の教育、体験型教育」重視の下に、また社会奉仕委員会との連携による「新世代育成に焦点をあてた活動プログラム」の展開をお願いしてきました。現在幾つかのクラブから「新世代育成活動の事例報告」も届いていますが、このような方針が各クラブの中に浸透しつつあるものと嬉しく思っています。李会長のメッセージ「素晴らしい世界を後世に残すためには、地域社会の最も大切な資源である『子供たち』に光を当てて頂きたい」と。私たちロータリアンが新世代のための活動を展開することこそがクラブ活動の根幹にあるべきではないでしょうか。当2790地区の新世代育成活動の昂揚、各クラブの益々の活性化を祈っての委員長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

変革を求めて

RYLA 委員長 金子 研一
(船橋東RC)



一昨年秋に、前年度の河合委員長より RYLA 委員長を指名され、本当に不安に苛まれる毎日でした。まして、夜間歩行ラリーの交通事情によるトラブルリスク管理の為、今年度から全く変革したライラを施行することとなりました。この一年私の頭の中でのシュミレーションが漸く現実となり、何とか成功を見ることが出来たのも、崎山ガバナーをはじめ地区委員の皆様や御理解頂いている各クラブの皆様方の御協力の賜物だと思っております。また、次年度2度目の増上寺でのセミナー開催の運びに成った事も、ここに謹んで報告させていただきます。

次年度は船橋西RC・嘉規委員長の指導の下、開催致しますので、今年度以上のセミナーになると思います。是非、青少年と共に御参加お待ちしております。

ローターアクトクラブの一年

ローターアクト委員長 名取 昇
(船橋東RC)



今年のローターアクトクラブは9クラブで約84名にて始まり、三代川代表のもと各クラブで計画を立ていろいろな事を勉強し活動をして来た事と思います。又長崎の地において全国ローターアクト研修会が開催され全国のローターアクトの仲間と2日間にわたり地区ローターアクト24名の参加者と全国の仲間と再会し、有意義な意見交換をして来た事と思います。ローターアクトは各クラブの事から全国的なことまでの活動をしています。しかしまだローターアクトに理解を示していないロータリークラブや会員の方など多くの人々がいます。後期に入り年内をもって活動を中止するクラブがあります。大変残念なことであります。当地区では15/83しかローターアクトを提唱していません。もっとローターアクトのことを理解して頂きたいと思っております。

提唱率アップを！

インターアクト委員長 石橋菊太郎
(成田RC)



現在、当地区のロータリークラブは、83クラブあります。しかしインターアクトクラブは、17クラブです。

他地区と比べても提唱率20.5%と、かなり低い数字になっております。他地区では、50%以上の提唱率でかなりの活性化をしております。

新世代が社会生活に積極的な関心を持つと共に指導力を培う機械に恵まれるよう、私たちロータリアンは今一度インターアクトの活性化を考えていくべきと思います。

当地区は、千葉県高等学校文化連盟に正式に加入して学校内のクラブ活動として認められています。

8月にインターアクト年次大会・9月にインターアクト国外研修・5月に指導者講習会を実施しております。

インターアクター達は、積極的に参加活動をしており、楽しい活動の中で、友人の和を広げております。そんな、若い人たちの未来のためにも新インターアクトクラブの提唱を宜しく願います。

若者は将来の希望

ロータリー財団委員会カウンセラー
パストガバナー 森島 庸吉
(船橋西RC)



ロータリーの奉仕活動において新世代への奉仕活動や教育支援事業は、将来を見据えた大事な事業であり、多くのプログラムが準備されております。

台湾では米山記念奨学会出身のガバナー（医師）が誕生し、中国にも米山学友会が創立され、代表の姫軍さん（弁護士）は、米山記念奨学会に対して多額の寄付をされました。韓国人で2人目の現駐日大使も亦元米山奨学生です。また、元国際親善奨学生、研究グループ交換メンバー、青少年交換メンバーだけで創立した“かながわ湘南ロータリークラブ”の高木直之初代会長（東京海洋大学教授）も多方面で活躍されております。

先輩ロータリアンの、ロータリー財団や米山記念奨学会への物心両面にわたる長年の貢献が若者を育て、その若者が更に社会貢献活動を進めるようになりました。人をつくり世界に尽くす奨学事業の、知的国際貢献としての役割の素晴らしさにあらためて感動する次第です。

1年を振り返って

ロータリー財団委員会
委員長 稲飯 博史
(千葉中央RC)



08-09年度は本当にめまぐるしく変化した1年でありました。2008年9月に起きたアメリカ発世界を巻き込んだ金融危機、そして日本経済も特に製造業を中心に大きな打撃を受けました。このような状況の年で、財団に対し寄付を始め多くのご協力、ご理解をいただいたことに感謝いたします。

難解といわれてきました「ロータリー財団」を各クラブ会員に理解していただく為、「研修セミナー」「地区協議会」そして「クラブでの卓話」を通じ、とにかく「分かり易く説明する」を念頭に心がけてきました。そしていくらかでも「私の財団」として意識が深まっていたら幸いです。又、今年度はビル・アンド・メリンダ ゲイツ財団との「ポリオプラスロータリー2億ドルのチャレンジ」、2013年度からの「新補助金制度」への完全移行、当地区では10年ぶりのGSE（研究グループ交換）の実施等新しく取り組んでいく課題ができました。次年度も財団は大きく変化していくと思われまます。国際ロータリーの使命に基づき新しい時代の変化に順応していきたいと考えます。これからは皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

告 悔

ロータリー財団委員会
奨学生小委員長 宇佐見 透
(千葉幕張RC)



雨ニモ マケズ、風ニモ マケズ、
ガバナーカーラノ シッタニモ マケズ
タヨリナイナー トイワレテモ
ソナナコトハナイト イイカエシ
ヒガシニ、ナヤム クラブアレバ
ショウガクキンヲ ツカエトハゲマシ
ニシニ、クルシム クラブアレバ
ホジョキンデ カイケツデキナイカト ツタエル
キュウジツノ アサノハヨカラセッセト
チイキセミナーニ シュッセキシ
マイバン ヨルノヨナカマデ
テツツキヨウランヲ テバナサナイ
ソナナ ロータリアンニ ワタシハナリタイ

委嘱状を頂き、明日こそやろう、がんばるぞ！と思いつけただけで、何も出来なかった。悪業が善行を認識させてくれるように、苦しみが喜びを感じさせてくれるでしょう。自ら苦悩に立ち向かって行かねばと、多くの地区委員の方から教えられた1年でした。崎山ガバナーお世話になりました。そしてありがとうございました。

ロータリーの 醍醐味を満喫する

ロータリー財団委員会
補助金小委員長 川原 勝壽
(佐原RC)



クラブ会長職を終え、財団委員になってはや5年。五里霧中、喘ぎながら登り始めた頂きが、霞んではいるものの目に入った。8合目の道標に『ノーブレス・オブリージ』と書かれているのがぼんやりと見える。山に喩えるとこんな感じである。

ただ頂上を制覇するには、残りの人生を掛けることになる。『ノーブレス・オブリージ』とは、社会のあるべき姿を表したフランス産の格言である。「高い地位に伴う道徳的・精神的義務」と言う意味になる。福沢諭吉によれば、瘦せ我慢と言うことになるが？

義務の実践こそが、ロータリー精神の荒廃防止の手がかりを暗示する。ロータリー哲学の道を逍遙するのが、私の至福の時である。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団委員会
寄付金小委員長 伊藤 正人
(鴨川RC)



本年度よりスタートしたポリオ撲滅1億ドルチャレンジへの寄付は、3月31日までに、2790地区では30,965ドル、目標額(83,000ドル)の37%に達しています。

ロータリー財団の資金は、ロータリーの人道的、教育的プログラムによる奉仕活動の源泉であり、格差拡大、貧困、地域紛争激化の世界において、ロータリーの奉仕活動は重要な意義を持ち、かつ効果的です。

地区の財団委員会では、財団本部よりの資料配布、地区セミナーの開催、クラブでの卓話を実施を通じて会員皆様にロータリーの奉仕活動への理解を深めていただく活動をしております。

会員皆様のご協力に感謝するとともに、なお一層の寄付増進をお願いいたします。

フェローに込める平和への願い

ロータリー財団委員会

世界平和フェローシップ小委員長 青木 忠茂

(船橋RC)

世界平和、紛争解決の実現を目標とする世界平和フェローシッププログラムへの、皆様のご支援ご心より感謝申し上げます。

当地区がホストを務めるフェローが地区大会に出席しました。



右から 第6期生ジェオフィリー・フィリップ氏夫妻(ウガンダ出身07-09年度)、得居カウンセラー、第7期生ピレエイ・モルガンダス氏(南アフリカ出身08-10年度)、山崎ホストエリアコーディネーター補佐、時田カウンセラー



課外体験プログラムで平安時代の女官の装束、所作を鑑賞しました。(2009.4.3) 後列右からジェオフィリー・フィリップ氏、平野副委員長、山崎ホストエリアコーディネーター補佐

1年を振り返って

R米山記念奨学会委員会

委員長 高橋 宏一

(八街RC)



はじめに日頃地区内会員の皆様に米山事業にご理解とご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。米山委員会には大きく分けて二つの役目があります。一つは会員の皆様から、奨学金の原資となる寄付金を募ることです。本年3月31日現在の第2790地区会員一人当たりの寄付額は、皆様のお骨折りで昨年の同期を上回っております。しかし全国平均には僅かながら届いておりません。景気後退の中、前年を超える寄付金をお寄せいただいた会員の皆様には感謝申し上げます。二つには地区内大学に就学中の米山奨学生に、奨学金を支給し支援することです。本年3月までは23人、本年4月からは22人の留学生の支援をしております。3月には歓送会(修了式)を行い、修了した奨学生と共に感動の一日を体験しました。

米山記念奨学会カウンセラーを終る

御礼のごあいさつ



R米山記念奨学会委員会カウンセラー

パストガバナー 秋元 秀夫

(君津RC)

三年間カウンセラーを務めさせて頂き、歴代ガバナーを始め地区委員、各クラブ・会員の皆様には時節柄 暖いご理解と大変なご苦勞とご協力を頂き、ありがたく厚く御礼を申し上げます。この奨学会の奉仕活動は世界的な大不況の中で奨学援助を受けられない学生が多くなっており、今までよりも更に大きな期待と必要性が求められております。寄付・奉仕とは個人の意思によるもので強制はできませんが、日本のロータリーは今こそこの奨学会を通してこうした困難な時代こそ分かちあい、助けあって共に生きて行こうと世界の人々へむかって示す時であり、その心を失わないことでもあります。ありがとうございました。

第10回 日韓親善会議のご案内

記

日 時：9月4日(金)～5日(土)

会 場：ハイアットグランドホテル・ソウル

登録料：22,000円

参加予定数：韓国側 700名 日本側 300名

大会予定：

9月4日(金) 9月5日(土)

14:00 開会式 9:30 開会

17:30 晩餐会 12:00 昼食

19:30 閉会 15:05 閉会

申込み：08-09ガバナー事務所

締切り：6月15日(月)

行事予定

太字：クラブ関係

6月 3日(水) 6日(土) 7日(日) 14日(日) 21日(日) 28日(日)	米山次年度奨学生募集について 大学関係者への説明会 千葉駅ビル ペリエ 14:00～17:00 ロータリー・センター・ホストエリア・セミナー 10:00～12:00 第7回ロータリー・センター年次セミナーほか 13:00～ 国際基督教大学 第10回ガバナー補佐会議 17:00～ 第6回地区諮問委員会 ホテル ザ・マンハッタン 10:30～12:30 第10回R財団委員会 13:00～ 合格説明会、奨学生オリエンテーション、壮行会 14:00～ ホテルニューオータニ幕張 青少年交換委員会 来日・派遣学生歓送迎会 ホテルニューオータニ幕張 12:00～14:00 【R I国際大会】英国バーミンガム ～24日(水)まで 第11回R財団委員会18:00～ R財団OB会18:30～
--	--

最新の行事予定はホームページをご確認下さい

文庫通信 (260号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
 ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。
 クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
 以下資料のご紹介を致します。

- ◎「あなたは何故ロータリアンのですか？」 中山義之 2008 19p (D. 2770指導者育成セミナー講演録)
- ◎「パネルディスカッション『会員増強』」 大友恒則(コーディネーター) [2009] 13p (D. 2800地区大会の記録特集号)
- ◎「ロータリー知識クイズ」 [2009] 3p (D. 2830西第一分区IM報告書)
- ◎「ロータリーの職業奉仕」 安平和彦 2009 37p (D. 2680職業奉仕セミナー)
- ◎「ロータリー財団『未来の夢計画』のパイロット地区申請にあたって」 小船井修一 2009 2p (D. 2500月信)

最近のロータリー情報から

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

- ◎「ロータリーの創立者ポール・ハリスをめぐる」 神崎正陳 2008 5p (D. 2570地区大会)
- ◎「決議23-34の杞憂」 田中 毅 2009 9p (D. 2500月信)
- ◎「ロータリーとは？～ロータリアンであることの意義～」 成川守彦 2008 9p (D. 2760地区指導者育成セミナー)

ロータリー文庫
 〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)



浅野 主久
(多古RC)



加瀬 邦雄
(成田コスモポリタン)



富澤 茂樹
(沼南RC)



小幡 倅
(君津RC)



宮内 博
(銚子東RC)



中村 浩
(松戸中央RC)



酒井 俊彦
(市川RC)



内藤 満
(市川RC)



高田 淳
(市川RC)



坂間 好展
(市川RC)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



五郎畑 巖
(松戸中央RC)
8回目



豊田 磐
(成田RC)
3回目



廣田 二郎
(君津RC)
3回目



村島 義則
(成田コスモポリタン)
2回目



鈴木 陽一
(館山ベイRC)
1回目



梅原 一郎
(八日市場RC)
1回目



石橋菊太郎
(成田RC)
1回目



石井 量久
(成田コスモポリタン)
1回目



宮地 辰彦
(君津RC)
1回目



三浦 勇
(君津RC)
1回目



鈴木 宏政
(銚子東RC)
1回目

恒久基金 (ベネファクター)



藤崎 壽路
(成田RC)
2回目



井上 峰夫
(八日市場RC)
1回目



萩原 承平
(多古RC)
1回目



村岡 実
(市川RC)
1回目

米山記念奨学会寄付

米山功労者



五郎畑 巖
(松戸中央RC)
17回目



秋元 秀夫
(君津RC)
10回目
メジャードナー



鈴木 康司
(松戸中央RC)
2回目



松田 康長
(成田RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



石井 和仁
(君津RC)
商業銀行
7月14日入会



前川 健二
(君津RC)
鉄道輸送
7月14日入会



永嶋 嘉嗣
(君津RC)
外科医
9月1日入会



押尾 正康
(成田空港南RC)
神道
12月4日入会



倉石 昌治
(成田空港南RC)
人材派遣業
2月1日入会



渡邊 明週
(松戸東RC)
中古車販売業
2月6日入会



本多 成年
(館山ベイRC)
建設請負
2月19日入会



鈴木 章治
(松戸中央RC)
証券業
3月26日入会



久米 伸一
(船橋みなとRC)
ホテル業
4月1日入会



林 徹郎
(船橋みなとRC)
生命保険
4月1日入会



森川 幸子
(流山RC)
不動産
4月2日入会



横渡 将治
(旭RC)
OA機器販売
4月3日入会



松下 和夫
(市川ビッグRC)
ITサービス
4月6日入会



上野 聡
(市原RC)
建設業
4月8日入会



高木 正尊
(成田コスモポリタン)
保育園
4月8日入会



野口 一哉
(千葉港RC)
証券業
4月9日入会



由地 敏廣
(松戸中央RC)
証券代行
4月9日入会



長谷川泰士
(市川ビッグRC)
スイミングクラブ
4月13日入会



井家 上進
(君津RC)
建築業
4月13日入会



渡辺 繁
(松戸中央RC)
耳鼻咽喉科
4月16日入会



塚本 恒行
(旭RC)
内科医
4月17日入会



大木 英幹
(旭RC)
薬剤師
5月8日入会



渡辺 剛
(松戸東RC)
百貨店
5月8日入会



井上 正夫
(君津RC)
港湾運送業
5月11日入会



小高 徹
(東金RC)
車両修理
5月12日入会



石川 浩基
(新千葉RC)
証券業
5月13日入会

R. I. 第2790地区（千葉）2009年4月出席・会員数報告

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	4	50	0	51	0	1
	市川東	100.00	4	48	2	45	1	-3
	市川南	75.70	4	21	2	20	2	-1
	浦安	89.50	4	48	0	50	0	2
	市川シビック	90.11	3	38	0	38	0	0
第2分区	船橋	94.91	3	26	0	28	0	2
	船橋西	84.32	4	48	4	48	4	0
	鎌ヶ谷	80.91	5	27	2	27	2	0
	船橋東	90.00	3	33	3	35	3	2
	船橋南	84.10	4	26	3	27	3	1
船橋みなと	76.84	4	30	7	31	7	1	
第3分区A	千葉	87.80	4	70	0	66	0	-4
	新千葉	96.12	4	49	0	47	0	-2
	千葉西	91.80	3	51	5	52	5	1
	千葉中央	86.86	4	38	0	37	0	-1
	千葉幕張	75.76	4	32	3	36	3	4
	千葉東	75.00	4	31	4	29	3	-2
	千葉若潮	89.85	4	35	0	36	0	1
第3分区B	千葉南	79.55	4	44	5	45	5	1
	市原	75.87	4	49	4	50	4	1
	千葉港	78.70	4	26	0	29	0	3
	市原中央	81.60	4	47	1	49	1	2
	千葉北	72.00	4	27	1	26	1	-1
	千葉緑	69.44	4	27	2	27	2	0
第4分区	木更津	84.00	5	43	3	45	3	2
	上総	79.99	5	20	0	19	0	-1
	富津	86.57	4	21	1	22	1	1
	富津中央	83.75	4	18	0	20	0	2
	木更津東	91.40	4	38	0	40	0	2
	君津	91.32	4	43	2	42	2	-1
	袖ヶ浦	96.82	3	24	2	25	2	1
	富津シティ	89.47	4	20	0	19	0	-1
第5分区	館山	80.07	4	51	4	58	4	7
	鴨川	87.70	4	23	2	24	2	1
	勝浦	83.93	4	43	4	42	4	-1
	千倉	90.60	4	19	0	16	0	-3
	鋸南	87.80	4	15	1	14	1	-1
	館山ベイ	65.91	4	19	0	23	0	4
第6分区	茂原	82.55	4	65	2	62	2	-3
	東金	88.97	4	33	0	34	0	1
	大原	83.00	4	16	0	16	1	0
	大多喜	84.65	3	18	2	17	2	-1

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	成田空港南	96.20	4	42	0	46	0	4
	茂原東	88.28	4	32	3	32	3	0
	茂原中央	79.00	4	26	4	26	4	0
	大網	74.19	4	31	2	31	2	0
	東金ビュー	75.90	4	27	1	28	1	1
第7分区	銚子	85.64	4	48	1	45	1	-3
	旭	96.00	4	49	0	50	1	1
	八日市場	81.82	4	38	0	41	0	3
第8分区	銚子東	76.72	4	39	0	37	0	-2
	佐原	83.18	5	50	0	48	0	-2
	多古	72.74	4	19	0	22	0	3
第9分区	小見川	84.61	3	27	0	26	0	-1
	佐原香取	85.70	4	23	0	25	0	2
	成田	95.62	4	58	0	59	0	1
第10分区	八街	75.00	4	37	2	39	2	2
	印西	91.13	4	31	0	31	0	0
	白井	80.00	4	17	0	18	0	1
	富里	76.90	4	28	0	28	0	0
	成田コスモポリタン	80.71	4	57	0	59	0	2
	柏	77.00	4	38	7	40	8	2
	我孫子	75.00	4	26	0	28	0	2
第11分区	柏西	80.32	4	53	2	55	3	2
	沼南	90.48	5	22	1	24	1	2
	柏南	84.70	4	31	3	30	3	-1
	習志野	77.78	4	39	2	42	2	3
	八千代	79.00	4	47	0	47	0	0
第12分区	佐倉	83.33	4	14	3	13	2	-1
	八千代中央	78.60	4	30	0	29	0	-1
	四街道	91.68	4	24	3	24	3	0
	習志野中央	82.00	4	37	4	40	5	3
	佐倉中央	58.30	4	16	2	18	2	2
	松戸	83.63	4	47	0	50	0	3
第13分区	松戸東	90.91	4	51	0	54	0	3
	松戸北	85.80	4	40	0	40	0	0
	松戸中央	76.76	5	43	3	53	3	10
	松戸西	86.46	4	24	0	24	0	0
第13分区	野田	81.67	4	48	5	45	5	-3
	流山	87.20	5	21	3	25	4	4
	野田東	87.47	4	34	0	34	0	0
	流山中央	80.12	4	26	2	28	2	2
野田セントラル	83.66	4	30	0	27	0	-3	

クラブ数 83RC	2008年7月1日地区会員数	2,870人	当月平均出席率	83.69
	2009年4月末日地区会員数	2,928人	増減	+58
	2008年7月1日地区女性会員数	124人	女性会員増減	+3
	2009年4月末日地区女性会員数	127		

物故会員 (敬称略)



藤田 榮一 (八日市場RC)
 逝去日: 2009年5月7日 (享年74歳)
 入会日: 1975年7月5日
 ロータリー暦
 1985-86年 クラブ幹事
 1996-97年 クラブ会長
 2004-05年 ガバナー補佐

6月のロータリーレート

98円

夢をかたちに



2008-09年度国際ロータリー会長

李 東建 (D.K.Lee)

会員目標

2009年3月31日までに1名の会員増強を達成する
{推奨目標：10%の会員増強}



2008-09年度国際ロータリー第2790地区ガバナー

崎山 征雄

ロータリーの心と原点を今見つめなおして
「招き猫」に託す会員増強の願い

ガバナー事務所

〒275-0011 習志野市大久保4-3-8

TEL 047-477-2401 FAX 047-477-2407

Email 08-09gov@rid2790.jp